§２　基本動作

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　担当　　　杉浦一弘

第１日13:00～14:00（60分）

|  |
| --- |
| 目　標  参加者は，このセッション終了時に次のことが達成できる。  １．基本動作・礼式の基準に応じた各種動作ができる。  ２．各種動作の開始合図ができる。  ３．国旗の取り扱いと掲揚，降納ができる。 |

指導上のねらい

１．隊指導者として，スカウトの規律，スマートネスの基準維持の導入的位置付けとして、日本連盟の基本動作・礼式の基準に応じた動作を正しくできるようにする。

２．同様に動作開始合図を出すことができるようにする。

３．班旗、班呼の取り扱いについて実際に体験し、理解させる。

指導上の留意点

１．スカウト活動独特の動作・基準なので、不慣れな参加者もいることを認識し、親切、丁寧に指導る。

２．参加者の団においては多少異なる合図や動作を使用している場合があるので、研修所では日本連盟基本動作･礼式の基準に則り研修するが、隊においては必ずしもこの限りでは無い場合があることを伝える。

３．隊編成においても、研修所での研修効果を高めるための隊編成であることを伝え、

通常の隊活動における隊編成と異なる点を伝える。

４．隊活動のけじめをつける意味で、重要な教育要素である。

５．日常よく使う動作なので、研修所の期間中、留意して覚えるようにする。

準備品(資材・資料）

・日本連盟発行書籍「基本動作・礼式の基準」

・模擬掲揚柱、模擬国旗、（掲揚用、行進用）模擬隊旗、模擬班旗、その他模擬記章類等

1．セッションの概要

(1) 基本動作の必要性と有用性について教育面、安全面、規律等の観点から説明する。

(2) 以下の動作と開始合図を行う。

基本動作

①気をつけ、休め、すわれ

②敬礼、立礼

③方向転換（まわれ右、右向け右、左向け左）

④握手、スカウトサイン、祝声

集散法

①集合１　Ｕ字形、円形および解散

②集合２　班縦隊、班横隊から片手間隔横隊および解散

国旗掲揚法

1. 国旗を広げて掲揚する方法および降納
2. 隊旗､国旗、の持ち方、気をつけ、休め（ハンドブックにはないが説明する。）
3. 班旗の持ち方　気をつけ、休め　（ハンドブックにはないが説明する）

２．訓練目標を達成するために伝えること・実施すること

(1) 日本連盟発行書籍　「基本動作・礼式基準」に則って展開する。

(2) スカウト活動独特の動作・基準なので、不慣れな参加者がいることを認識し、親切丁寧に指導する。

(3) 参加者の団においては多少異なる合図や動作をしている場合があるので、研修所では日本連盟の基本動作・礼式基準に則り研修するが、隊においては必ずしもこの限りではない場合があることを伝える。

(4) 隊編成においても、研修所での研修効果を高めるための隊編成であることを伝え、通常の隊活動における隊編成と異なる点を伝える。

３．セッションのまとめと確認事項

(1) 隊活動のけじめをつける意味で、重要な教育要素である。

(2) 日常よく使う動作なので、研修所の期間中、留意しておぼえるようにする。

(3) 身振りでの開始合図は隊指導者としてスムーズに行う。

(4) 国旗の取り扱いについては、慎重かつ丁寧に取り扱い、スムーズに行う。

(5) 基本動作の考え方はスマートネス、敬礼、手の合図などの乱用はしない。

セッション展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | セッション内容 | 指導上の留意点・準備品・支援 |
| 12:30 | １．導入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（５分）  スカウティングの4 本柱　「人格」「健康」「知識･技能」「奉仕」を確認する。  このセッションで何を行うかを確認する。 |  |
| 12:35 | ２．展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（５０分）  (1) 基本動作の必要性と有用性  　規律と秩序，自主性と社会性について考えさせる  (2) 正しい制服の着用について  (3) 動作と開始合図  基本動作  ①気をつけ、休め、すわれ  ②敬礼、立礼  ③方向転換（まわれ右、右向け右、左向け左）  ④握手、スカウトサイン、祝声  集散法  ①集合１　Ｕ字形、円形および解散  ②集合２　班縦隊、班横隊から片手間隔横隊および解散  国旗掲揚法  ①国旗を広げて掲揚する方法および降納  行進用、国旗、隊旗の取り扱いと班旗  ①国旗の持ち方　気をつけ、休め  ②隊旗の持ち方　気をつけ、休め  ③班旗の持ち方　気をつけ、休め  ３．まとめ  　(1)隊活動のけじめをつける意味で、重要な教育要素である  　(2)日常よく使う動作なので、研修所の期間中留意して覚えるようにする  (3)身振りでの開始合図は隊指導者としてスムーズに行う。  (4)国旗の取り扱いには、慎重活丁寧に取り扱いスムーズに行う。  (5)基本動作の考え方はスマートネス、敬礼、手の合図などの乱用はしない。 | ※教育面、安全面、規律等の観点から説明する。  ※「弥栄用意」とは言わない。スマートネス  ※来賓のいるＵ字形と隊指導者だけの場合のＵ字形の違いについて注意する。  集散実習において副長の支援を受ける  訓練用国旗、ポールを2セット用意  ﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸにはないが説明する  ※シンボル，汚してはいけないことを伝える |
| 13:15 | ４．質疑応答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（５分） |  |

口述要項

１．導入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（５分）

つかみ少々！　（所員はなぜかっこいいのか？）

スカウティングの4 本柱　「人格」「健康」「知識･技能」「奉仕」を確認する。

　　 （ここでは、スカウティングの4 本柱の「人格」と「健康」が関わる。）

２．展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（５０分）

(1) 基本動作の必要性と有用性

教育面　スカウトの仲間としての意識付け

安全面　活動前に気を引き締める

規律面　号令合図によって動作すること、正しい姿勢、動作を行うことをまもることによる規律、秩序の維持。

社会的　規律正しいスカウトの姿が評価される。

＊基本動作の考え方

スマートネスについて説明する。ボード§２－２

スマートネスとは　ﾘｰﾀﾞｰﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸP249

スマートなこと、スマートであること。こざっぱりとした服装、気の利いた制服の着こなし、機敏な態度、スカウトらしい言葉遣い。服装はもとより、人に対する態度、言葉遣いにおいてスマートであること。辞書「smartness」 粋、ハイカラ、洗練、抜け目のないこと、明晰

スマートネスは見た目のものだけではなく、心よりにじみ出る姿「ちかい」「おきて」

周りに対しさわやかですがすがしいイメージ「好感」をもたらす。カッコイイ！

(2) 正しい制服の着用について（象徴的枠組み）

　　　◦制服そのものがいつもパリっとしている、シワくしゃでない、セレモニーの時はポケットには最低限のものしか入れない。

◦記章の付け方 規程に従って、きちんとつけられているか　ﾘｰﾀﾞｰﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸP250

◦ネッカチーフ きちんと巻かれているか、汚れていないか

◦ハット　記章の位置は、正しくかぶっているか

これが出来ていなければ、基本動作はあり得ない！

(3) 動作と開始合図

基本動作（実習）「基本動作・礼式の基準」使用

1. 気をつけ、休め、すわれ　（ハンドシグナル）カブのようにハンドシグナルと号令を併用しない。
2. 敬礼、立礼　　　三指の敬礼　三指の意味を説明（三つのちかい）敬礼は挨拶をする方から先に、　　目上の人が降ろした後に降ろす。
3. 方向転換（まわれ右、右向け右、左向け左）
4. 握手、スカウトサイン、祝声　　　　　（班旗を持っている場合の弥栄はどのように行う？）

集散法　（実習）「基本動作・礼式の基準」使用

　　　　　＊生田目副長、熊谷副長の支援を得る（集合場所を変えて行ってもらう）ゲーム性を持たせる。

1. 集合１　Ｕ字形、円形および解散　　ホワイトボード使用　（ハンドシグナル）立ち位置の確認（特に班長の位置）、来賓のいるＵ字形と隊指導者だけの場合のＵ字形の違いについて注意する。
2. 集合２　班縦隊、班横隊から片手間隔横隊および解散

国旗掲揚法　　（実習）「基本動作・礼式の基準」使用　　訓練用国旗、ポール１セット用意

1. 国旗を広げて掲揚する方法および降納　正手、副手の位置注意、国旗の掲揚速度、降納速度について説明する。　スマートネス基本　国旗の揚がる方向注意

行進用、国旗、隊旗の取り扱いと班旗(ハンドブックにはないが説明する)

　　　　（実習）「基本動作・礼式の基準」使用　　訓練用旗竿人数分用意（篠竹でもよい）

1. 国旗の持ち方　気をつけ、休め
2. 隊旗の持ち方　気をつけ、休め
3. 班旗の持ち方　気をつけ、休め

シンボルとしての隊旗、班旗の取り扱いについて説明

３．まとめ

(1)隊活動のけじめをつける意味で、重要な教育要素である

(2)日常よく使う動作なので、研修所の期間中留意して覚えるようにする

(3)身振りでの開始合図は隊指導者としてスムーズに行う。

(4)国旗の取り扱いには、慎重活丁寧に取り扱いスムーズに行う。

(5)基本動作の考え方はスマートネス、敬礼、手の合図などの乱用はしない。

４．質疑応答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（５分）